環境公共 通信

“地域づくりの新しいかたち”環境公共

第１０号　平成２３年９月
発行／環境公共推進会議事務局
〒030-8570 青森市長島 1-1-1
青森県農林水産部農村整備課内
TEL 017(734)9545 FAX 017(734)8153

■最近の話題

環境公共　のロゴマークができました

県では、７月２６日に「環境公共」のロゴマークを作成し、様々な印刷物や名刺などに利用することとしました。

ロゴマークは、山吹色の丸で「輝く太陽」を表し、一筆書きで、双葉が太陽の光を浴びて楽しげに、おおらかに伸びゆく様子を表しています。また、ブルーとグリーンのカラーは、ブルーで「空と海」を、グリーンで「大地」を表現するとともに、それらがグラデーションし、「時の流れ」をイメージさせることによって、「環境公共」が未来へと続いていくことをアピールしています。

「環境公共」のロゴマーク

ロゴマークの決定に当たっては、青森県農林水産部の職員を対象にアンケートを実施しました。ご協力いただきました皆様方には、この場をお借りして御礼を申し上げます。

環境公共　の取組がテレビで紹介されました

去る８月１４日、 県政広報番組「活彩あおもり」で、「地域づくりの新しいかたち～環境公共～」が放映され、県内３地区の取組が紹介されました。

上小国地区での収録の様子

上小国地区（外ヶ浜町）では、ほ場整備により労働生産性の向上だけでなく、排水条件が改善されたことにより、ニンニクなどの高収益作物の作付が可能になりました。また、地区環境公共推進協議会を中心に、水田地域の生物の生息空間として、ビオトープの整備などが行われています。

大沢内地区（中泊町）では、森林の複層林化などにより保水能力が適切に保たれており、その恵みとして、きれいな水が地域に親しまれている「名水湧きつぼ」が紹介されました。

番組収録の様子

第２鯵ヶ沢地区（鯵ヶ沢町）では、「ハタハタ」などの水産資源の増大のための藻場整備の状況や、環境公共コンシェルジュの世永星（よながせい）さんによる、小学生を対象とする水の循環などに関する勉強会の様子が紹介されました。

また、総括として、県の北林農村整備課長は、農山漁村の過疎化・高齢化が進行する中で、農林水産業と環境の共生を図る「環境公共」の重要性などを説明して、番組を締めくくりました。

第２鰺ヶ沢地区（西津軽郡鰺ヶ沢町）　～水産資源の増大を目指す藻場づくり～

１　地区の概要

浜に打ち上げられたハタハタの卵

青森県の南西部沿岸に位置する鰺ヶ沢町では、日本海の沖合に国内有数の漁場が形成されていることから、スルメイカやハタハタなどを対象とした漁業が盛んに行われています。しかし、近年ではハタハタの漁獲量が減少してきており、漁業者からはハタハタ資源の回復を望む声が上がっていました。

２　ハタハタが産卵できる藻場づくり

海底に設置しているコンクリートブロック（中央はホタテガイの貝殻）

ハタハタの漁獲量が減少している要因の一つとして、日本海沿岸には海藻が生育できる岩場が少なく、ハタハタが産卵できる大型の海藻が集まる藻場が不足していることから、産卵した卵が浜に打ち上げられるなど、孵化できない状況にあることが考えられます。このため、県では、ハタハタが産卵できる藻場を作るため、平成２１年度より海底にコンクリートブロックを設置しています。また、コンクリートブロックの中央には、魚たちのえさとなる生き物を発生させるため、地場の資源であるホタテガイの貝殻を設置しています。これまでに設置したコンクリートブロックの周辺では、藻場が作られているほか、藻場に生息する魚たちが確認されています。

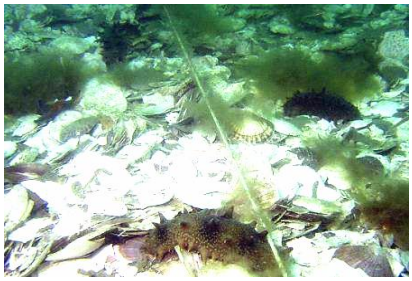
ブロックに作られた藻場

藻場に集まる魚たち

３　今後の取組

今後、藻場周辺でのハタハタの産卵状況を確認することとしており、県では、ハタハタを含めた水産資源の増大を目指し、本地区を含めた日本海沿岸域での藻場づくりを積極的に進めていくこととしています。

ホタテガイ貝殻を利用した豊かな海づくり



敷き詰められたホタテガイ貝殻の上に生息するナマコ

青森県のホタテガイ養殖は、全国第２位の生産量を誇り、地域の基幹産業となっている一方で、その副産物である貝殻の有効な活用方法が課題となっていました。

このことから、県では、ホタテガイ貝殻の有効な活用方法の試みとして、貝殻を海底に敷き詰めたところ、ナマコやウニが発生したほか、カレイやメバルなどのえさ場や産卵の場となることが確認されています。そこで、県では、ホタテガイ貝殻を活用した漁場づくりを適正に計画・施工・管理するため、「ホタテガイ貝殻敷設による漁場造成ガイドライン」（平成２０年３月）を作成し、循環型の農林水産業の実現や豊かな海づくりに向けて積極的に取り組んでいます。

「環境公共」HP　http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/kankyoukoukyou.html